

2009年7月1日

塩害により劣化した実橋 RC 桁の公開載荷試験のご案内
—日本海沿岸で約 80 年供用された能生川橋より切り出した RC 桁—

長岡技術科学大学
長岡工業高等専門学校
新潟県コンクリートメンテナンス研究会

新潟県能生川に架かる能生川橋は、日本海の飛来塩分による塩害の著しい地域において、国道、地方道として約 80 年間供用され、2009 年にその使命を終え解体されました。長岡技術科学大学、長岡工業高等専門学校、新潟県コンクリートメンテナンス研究会では、共同研究プロジェクトとして、糸魚川市の許可を得て、貴重な実例である「能生川橋」の劣化状況の調査を行ってまいりました。このたび、解体時に切り出した鉄筋コンクリート桁 2 体を長岡技術科学大学に搬送し、破壊まで載荷試験を行うことになりました。塩害によるコンクリート中の鉄筋腐食が著しく進行した実構造物の載荷試験は、学術上また構造物の維持管理技術において、きわめて貴重な機会であり、有用な情報が得られるものと思われます。すでに 1 体目の桁の載荷試験を 6 月 5 日行い、成功裏に終了したところです。

劣化が著しい 2 体目の桁の載荷試験は、下記要領により公開実験とすることといたしました。奮ってご参加ください。

記

実験日：2009 年 7 月 24 日（金）

場所：長岡技術科学大学（新潟県長岡市上富岡町 1603-1）

時間：

13:00 環境システム棟 7 階会議室集合（キャンパスマップ参照）

13:00～14:00 概要説明（概要、現地調査、解体、1 体目の試験結果など）

14:00～ 載荷試験（大型実験棟、キャンパスマップ参照）

17:00 ごろまでに現地解散



能生川橋



能生川橋の劣化状況



1 体目の桁の載荷試験後の状況

備考：

見学者数把握のため見学希望者はメールで連絡をお願いします。（何人かまとめて結構です。）

問い合わせ先：

長岡技術科学大学 下村 匠（tel: 0258-47-9603、e-mail: takumi@nagaokaut.ac.jp）

長岡技術科学大学 田中泰司（tel: 0258-47-9626、e-mail: yasuxi@nagaokaut.ac.jp）

参考 URL：

長岡技術科学大学：<http://www.nagaokaut.ac.jp/>

アクセスマップ：<http://www.nagaokaut.ac.jp/j/access/koutsu.html>

キャンパスマップ：http://www.nagaokaut.ac.jp/j/access/unv_map.html